

CASBEE® 広島

(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島鉄道病院	階数	地上7F
建設地	広島圏都市計画事業(広島平和記念公園)	構造	RC造
用途地域	都市計画区域	平均居住人員	500 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2014年3月17日
敷地面積	26,137 m ²	作成者	深田 靖
建築面積	4,720 m ²	確認日	2014年3月19日
延床面積	22,582 m ²	確認者	鳥山 亜紀



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.4 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.6

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 4.0

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.9

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.1	スコア = 3.1	スコア = 4.1
設計の計画上特段に配慮した事項 熱負荷統制の高い材料を使用し、結果PAL値を低く抑えた / 太陽光パネルの設置 太陽熱の給湯熱源への変換を行うことにより、自然エネルギーを有効活用している / 空調においては高効率熱源を使用し、照明では適所に人感センサー等の省エネ手法を採用している / 設備システムの効率的運用を行う為に、中央管理盤より、各機器の使用状況を把握することで、最適運転を計画できる / 節水器具を採用している 工法にGL工法の採用・間仕切壁にはGL工法の採用をすることにより、再使用可能性を高めている / 特に運用時に設備機器関連から排出されるCO ₂ を低く抑える為に、高効率熱源機や、照明の省エネ制御等を行っている	設計の計画上特段に配慮した事項 外構緑化・建物緑化を積極的に取り入れ、舗装部分には透水性舗装を行い、ヒートアイランド対策を行った / 適正な、駐輪・駐車スペースの確保、交通渋滞を起こさないアプローチの検討を行った	設計の計画上特段に配慮した事項 免震装置を採用することで、地震時に建物に与えるダメージを極力少なく計画した。また、更新間隔の長い配管等を採用した。 / 設備機器更新時に建物機能を維持出来るように、バックアップスペースに配慮、機器更新方法の検討などを行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される